

■プラン名：
大学先端研究とつながる「やわらかものづくり」DX探究
(AVAD × 山形大学 古川英光 教授 連携)

■企業名：
株式会社AVAD

■このプランは、事業計画書の以下の項目に対応しています

3. 理数系科目の充実

4. 情報・理数系学科コースの充実

5. 文理横断的な新しい普通科の設置

● 概要

情報Ⅱ (4) 情報システムとプログラミング
情報Ⅱ (5) 情報と情報技術を活用した 問題発見・解決の探究
総合的な探究/部活動/その他

AVADの SPACEBLOCK を起点に、山形大学・古川英光先生の研究知見（ソフト&ウェットマター/3D・4D発想等）を、高校の探究に“体験”として接続するアレンジメントプランです。事前オリエン（オンライン）→ 特別授業（オフライン）→ 伴走（オンライン）を基本形とし、学校の状況に応じて内容・深度・テーマは柔軟に調整します。

全国の大型商業施設（イオンモール等）での実施実績。全国紙（産経新聞）一面での紹介実績あり。

<対象>

- ・DXハイスクール採択校/申請校
- ・探究（総合的な探究の時間）、情報、理科、工業、家庭科、課題研究等の授業・プロジェクト
- ・探究チーム、部活動、校内コンテスト/外部大会に挑戦する生徒・教員

<期待される効果>

- ・デジタル×実体験（計測・可視化・試作・改善）のプロセスを通じた探究の質向上。
- ・“作って終わり”にせず、発表・応募・外部発信につながる探究設計。
- ・教員側の負担になりやすいテーマ設計/評価観点/運営の型を校内に残しやすい。



●ポイント

特長①
先端研究を「講演」ではなく“設計体験”へ

大学の研究視点（問いの立て方、評価指標の考え方等）を高校の探究に接続。テーマは学校の関心領域（食・福祉・医療・地域課題等）に合わせて調整可能。



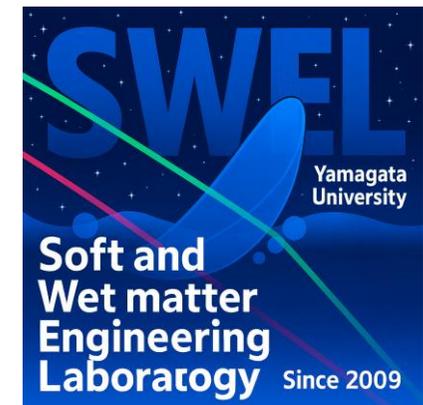
特長②
SPACEBLOCKで「データが残る探究」に

体験を“思い出”で終わらせず、センサー・ログ・可視化など、説明可能な根拠（データ）を残す設計を重視。



特長③
伴走で継続利用と外部挑戦を後押し

特別授業（オフライン）を山場にしつつ、その前後で「学校内で回る形」に整えるため、過不足のない伴走を行います（必要に応じて調整）。



● 参考価格

(例) 校内ICT環境を活用し、大学先端研究とつながる「やわらかものづくり」を体験する探究学習として活用。

項目	内訳	小計 (税込)
企画設計・事前オリエン・オフライン特別授業・伴奏支援関連	テーマ設計、実施設計、教員向け運用支援 等 専門家連携、当日運営、簡易材料・機材準備、実施調整 等 オンラインレビュー、発表/応募資料のブラッシュアップ支援 等、SPACEBLOCK本体・パーツなどを含む	200万円～
		合計200万円～

【留意事項】

- ・参考価格につき、詳しくはお問い合わせください。条件に合わせてスケールすることが可能です。
- ・ご提供内容は一例であり、内容が一部変更になる可能性があります。

ご興味がありましたら、以下からお問合せください。

- サービス名 : SPACEBLOCK® (スペースブロック)
- 企業名 : 株式会社A V A D
- 電話 : 050-3181-2592 (平日11:00-17:00) ※DXハイスクール導入サポート専用窓口です。
- メール : support@spaceblock.jp
- ホームページ : <https://spaceblock.jp/>
- お問い合わせ先 : <https://spaceblock.jp/contact>